

津波避難路確認

同市の津波避難訓練は新型コロナウイルス感染症拡大以降中止の年が続き、2022年10月に同市が会場となった九都県市合同防災訓練以外では行っておらず、市



タワールの頂上蓄倉庫を兼ねた中を確認す

単独で6年ぶり訓練 大網白里市



2月下旬以降に千葉県東方沖震源の地震が相次ぐ中、津波への意識を新たにしようと、大網白里市は10日、住民参加型の津波避難訓練を実施した。同市単独で津波避難訓練を開くのは6年ぶり。県東方沖が震源の地震が午前9時に起きて震度6強を観測し、大津波警報が発表された想定。市が指定する津波避難施設9カ所に住民が実際に足を運び、避難経路を確認した。

農産物を販売する茂原樟陽高校の生徒たち 10日、茂原市



伝統の六斎市 魅力アピール

茂原 高校生も活性化へ一役

約400年の歴史がある茂原市とされる「茂原六斎市」を活性化させようと、茂原市役所前の市民広場で10日、PRイベント「六斎市&マルシェ」が開かれた。六斎市の出店者に加え、県立茂原樟陽高校の生徒や飲食販売店もブースを構え、約20軒が登場。旬の野菜などを販売して伝統の露天市をアピールした。

通りで開催され、季節の野菜や果物、植木などの露店が並ぶ。開催している茂原市場販売組合によると、近年は直売所に出店する農家が増えるなどし、六斎市の出店数は多くて10軒、少ない時は5、6軒に減っていた。六斎市を再び盛り上げようと、茂原六斎市再活性化協議会が2015年に発足し、マルシェとの合同イベントを毎年開催するなどPRに取り組んでいる。

平和な社会 実現呼びかけ 木更津でアグネスさん講演



ユニセフ・アジア親善大使で、歌手や大学教授など幅広い分野で活躍するアグネス・チャンさんが木更津市内で講演した。アグネスさんは、世界各地で発生している紛争に触れ「将来を担う子どもや地球の未来について考え、話題にしてもいい」と強調。一人一人の力で進めたいと、講演後の第2部では日本製鉄君津吹奏楽団によるスプリングコンサートがあり、オリジナル曲「行進曲 青空君津」や、春がテーマのモデルが演奏された。

今回は昨年続き、茂原樟陽高校の生徒が参加。市内農産物を使った新商品のアイディアを考えた活動を来場者に紹介した。昨年9月の大雨で学校農場が浸水し、自前の野菜が用意できなくなったため、市内の農産物直売所「旬の里ねぎぼっず」の商品を販売した。2年生で生徒会長の岩瀬大さん(17)は「長年続いて六斎市をみんなに広めていきたい」と意気込みを語った。同組合の米倉義規組合長(75)は「六斎市はお年寄り客の憩いの場にもなっている」とし、PRイベントをきっかけにした出店増を期待。「家庭菜園をやっている人も余った野菜を売ってもらえれば」と呼びかけた。

講演は、君津地域の70年代のクラブ(木更津、上総、富津中央、木更津東、君津、袖ヶ浦、富津シテイ)が親睦を図るインターネットミーティングの中で開かれた。登壇したアグネスさんは「日本語は少しなまってる」とユーモアを交えてあいさつ。香港で生まれて日本で歌手デビューし、ボランティア活動にも奔走した半生は「世界各国の人々との出会いに支えられた」と感謝した。ウクライナ侵襲やパレスチナ自治区ガザの戦闘に言及し「平和について普段から話し合うことが、争いのない社会を構築する」と力を込めた。

成田市は若者や子育て世代をターゲットに、成田空港や成田山新勝寺の文化がある地域性を紹介し、市独自のPRも3分14秒の動画を制作した。作品名は「幸せってなんだろう...?」。YouTubeでインターネット配信

まちPR



若者や子育て世代ターゲット



統合地方版

皆さまからの情報をお待ちしております。
E-mail: c-nippo@chibanippo.co.jp

本社編集局
TEL 043(222)9215
FAX 043(224)7001
〒子・海田支局
TEL/FAX 0479(24)8667
●銚子市
●旭市
●匝瑳市
香取支局
TEL/FAX 0478(54)2699
●香取市
●神崎町
●多古町
●東庄町
成田支局
TEL 0476(30)1710
FAX 0476(32)5800
●成田市
●富里市
●芝山町
●栄町
佐倉支局
TEL/FAX 043(484)6011
●佐倉市
●四街道市
●八街市
●印西市
●酒々井町
東金支局
TEL/FAX 0475(53)0802
●東金市
●山武市
●大網白里市
●横芝光町
●九十九里町
茂原支局
TEL/FAX 0475(25)6628
●茂原市
●一宮町
●睦沢町
●白子町
●長柄町
●長南町
●長生村
●購読のお申し込み
0120(16)7828